

# カッコーの啼く夜・別離 (1980)

SHALL CUCKOO SING AT NIGHT

メディア 映画  
ジャンル ドラマ  
製作国 韓国  
時間 119分  
初公開日 不明

## 【解説】

俗に“韓国エロス”などと呼ばれている分野の先駆けとなった映画だが、むしろ職人監督、チョン・ジンウ（これまで70本有余の作品を手がけた、林権澤と並ぶ多作家である）の作家的脱皮を示す作品として記憶すべき秀作である。仮面舞踏団のダンサーの娘スニは母に捨てられ、若い炭焼きのヒュンボの母に拾われ育てられ、17歳になった時、ヒュンボと結婚。深い森の自然の中で幸せに暮らしていた。が、ある日出かけた市場で、鏡や指輪を売子に勧められるうち、スニは物欲に目覚めた。そんな彼女に、町の相撲大会で優勝した賞金で指輪を買ってやる夫。やがて彼らに、スニに色目を使う山林監督官のキムがあれこれちょっかいを加えるようになり、遂には無許可での炭焼きを咎めヒュンボを捕え、スニを強姦しようとするが、以前からスニに片思いをしていた夫の親友チルソンに助けられ、彼女は彼と共に山を下りる。が、愛する野山と自由こそ幸せと知ったスニは再び森に戻って夫の帰りを待つ。しかし、そこへまたしてもキムが現れ、彼女を犯そうとし、屈服しかけた彼女の眼に入ったのは炭焼小屋の燃え盛る炎。釈放された夫が灰の中に見た物は……。土俗的な官能性の中に人間の本能にまつわる興味深いテーマを盛り込んで、寓話的な語り口に洗練も見られる。主演のチョン・ユン・ヒの美しさは圧倒的で、肉感的な肩や二の腕が剥き出しになるだけで、男の欲情をかきたてる罪なカラダをしている。韓国のアカデミー賞といわれる大鐘賞を9部門も独占した“文芸大作”でもある。

## 【クレジット】

監督 チョン・ジンウ  
出演 チョン・ユン・ヒ  
リ・デェ・ゴン  
キム・シン・ジュ